— vol.3 —
2020年2月12日発行

グループホームさざなみ鶴見

荒田（あらた） あや子

さざなみ

グループホームさざなみ鶴見が2009年（平成21年）に開設して以来、長年にわたり支え続けている荒田あや子。その笑顔と明るさで、何人ものご利用者様を元気づけてきた荒田の軌跡に迫る。

――年齢を重ねても変わることのない活力

中学卒業後、故郷の近くの医療機関に看護助手として住み込みで働き始めた。国家資格を必要としない看護助手の役割は、患者の身の回りの世話が中心。様々な症状で運ばれてくる患者を支え、自分のできる限りの仕事を精一杯こなしていくうちに、多くの知識を身につけていった。

24歳で大阪に引っ越してからも診療所に勤務。40年以上医療の現場で働いてきた中で、どんな仕事でも前向きに取り組んできた。

「私は苦労しているとか、大変だとか、あまり考えないんです。きっと、もっと大変なことがあるはず。だから『これくらいで音を上げてはいけない』と思うのです。今でも辛いと思うことはないですよ」。

60歳で診療所を定年退職した後は、10年間デイケアに勤務。80歳を過ぎた今も健康そのもので、風邪もほとんどひかず、大きな病気とも無縁。学生時代にはソフトボールで活躍していたこともあり、運動神経も抜群だ。足腰もしっかりしていて、前職では往復10キロの道のりを、雨の日も風の日も自転車で通勤していたという。

――70歳からの再挑戦

70歳の誕生日を過ぎてしばらくしたころ、たまたま通りがかったグループホームさざなみ鶴見の、求人募集の貼り紙が目に留まり興味を持った。身体はまだまだ元気とはいえ、年齢がネックになるのではないかと不安があったが、そこで立ち止まるのは自分らしくない。「ダメ元でやってみよう！」と応募した。

こうして臨んだ面接で、社長は「あなたなら大丈夫。とても元気な方ですし、ぜひ、頑張ってください」と、快く採用してくれた。

「そのときの社長の話し方が、とても気さくで、温かいものでした。笑顔の多い良い会社に違いないと思ったのです」。

実際、その直感は当たった。入社してみると家庭的な職場で、スタッフたちも優しく、気軽に話しやすい人たちばかり。職場全体が一つの家族のように、優しい空気に包まれていた。偶然見つけた求人からつながった縁により、荒田の挑戦が再び始まったのである。

荒田さんレクチャーの様子

――ご利用者様への尊敬の気持ちを胸に

出社すると、まず行うのはご利用者様の顔を見て声をかけること。そして、排泄管理とトイレ掃除だ。その後は食事の準備などを済ませた後、入浴介助なども行う。

「『ありがとう』『気持ちよくなったよ』と言っていただけるのがとても嬉しくて、励みになります」。

ルーティンの業務をてきぱきと笑顔でこなす荒田は、レクリエーション活動でも皆をけん引する存在だ。ご利用者様それぞれに合わせ、何をしたら楽しく、そして心身にとって良い影響があるのか、筋力体操や言葉遊びなどを事前に考えて用意する。カラオケでは自身も歌い、会場を盛り上げる。普段あまり積極的に活動に参加しない方でも、荒田の工夫によって、楽しく参加してくれることもある。

「ご利用者様の中には、『次はいつ来るの？』と尋ねてくださる人もいます。待っていてくれる方がいるのは本当に有難いですし、やりがいにもなります」。

着替えを手伝うときなど、身体がうまく動かなかったり痛かったりして手が出てしまう方もいるが、たとえどんなご利用者様であっても、長い間人生を歩んでこられた方たちを尊敬しているのだ。

有限会社さざなみは「笑顔があふれて温かみのある職場」だという。もちろん、社長の人柄やスタッフの優しさがそうした社風を作り上げているのだが、荒田が持つ明るい雰囲気によるところも大きい。これからも彼女は、ご利用者様のために自身の力を存分に発揮していくだろう。

入居者様と作成した貼り絵

職場紹介

～さざなみ鶴見～

３号はさざなみ鶴見を紹介!各事業所はどんな雰囲気でしょうか?一緒に働く仲間に注目してみましょう!

さざなみ鶴見の雰囲気

スタッフの仲が良く、皆元気なのでとても明るい雰囲気です。80才のスタッフが２名いるなど年齢層は高いものの、その分入居者様思いの優しい介護ができているのではないかと思います。年齢が高いスタッフも、若い方と同じようにお風呂介助や移乗を行います。27名中男性は４名のみと女性がメインの職場ですが、力仕事は男性に任せるということもありません。年齢や性別に関係なく働いています。

▲職員集合写真

独自の取り組み

介護度に合わせて入居者様のフロアを割り振っています。そのため、レクリエーションの得意なスタッフは自立度の高い入居者様のフロアを担当するなど、支援が行いやすい環境です。

注目スタッフ

中山（なかやま） 幸枝（ゆきえ）さん とても活動的に働かれているリーダーです。皆のまとめ役から新人教育まで多岐にわたる業務を引き受けてくださっています。とてもきっちりとした方で、頼んだ仕事は必ず期日までに終わらせます。

介護事業部
グループホーム
さざなみ鶴見
管理者
西山（にしやま） 貴子（たかこ）さん

利用者様との思い出のエピソード

2018年の秋祭りです。一般的なお祭りのように、ヨーヨー、射的、輪投げなどのゲームを複数手作りしました。また、露店風にたこ焼き、焼きそば、お好み焼きなどを作り思う存分食べていただきました。入居者様が積極的にゲームなどに参加していて、とても楽しかった思い出です。
また、地域のお祭りも印象深い思い出です。一般的に老人介護は閉鎖的になりがちですが、町会の方がとても協力的であり、施設の中まで地車やその仲間と入ってきて入居者様と写真を撮ってくださいました。若い方の笑顔が溢れており、非常に活気がありました。

▲体操レクチャーの様子

スタッフとの思い出のエピソード

2018年３月に行った前施設からの引っ越しです。スタッフ皆で荷物をまとめ、どのように移転すれば良いか会議で話し合いました。以前の施設よりも広く、収容人数も多くなったため、広くなったスペースをどう活用すれば良いか、必要なものは何か?なども議論しました。

▲西山さんの調理風景

今後の目標

スタッフのスキルアップです。ご入居者様は、歳を重ねるにつれ自然と体力も衰えます。その中で、皆さんが楽しく元気に、活動的な生活ができるよう一層取り組んでいきたいと考えます。そのために、少人数の参加型研修を１月から実施するなど、新たな研修を取り入れていきます。

イベント情報

各事業所で楽しいイベントを行いました!その様子をご紹介!

さざなみ壱番館・ヘルパーステーションわおん

立春の頃、入居者の皆様と厄除けの鬼退治を行いました。無病息災を願いつつ、楽しい一時を過ごしました。

グループホームさざなみ 京都南

夏に納涼祭を開催。職員手作りで流しそうめんをし、入居者の皆様と楽しみました。

グループホームさざなみ 大池橋

みんなでたこ焼きパーティー!材料を準備したり、たこ焼きを焼いてくださったりと皆様大活躍でした。

グループホームさざなみ 加納

春の晴れた日に近所の公園でお花見。満開の桜の下、楽しい時間を過ごしました。

グループホームさざなみ 松屋町

地域のボランティアの方に来ていただき、いきいき化粧教室を開催。皆様昔の経験から自分の手で美しくなられて、笑顔も素敵でした!

グループホームさざなみ 鶴見

生駒山が見える屋上で、秋祭りを開催。皆様、よく食べ、よく飲み、よく遊び、笑顔溢れる一時を過ごしました。

SPECIAL DAY

グループホームさざなみ 城東

クリスマスにボランティアの方に来ていただきコンサートを開催。普段、なかなか聴くことができない生演奏で、楽しいクリスマスを過ごしました。